

# 書式は廃止とする

# 特記仕様書(コピー)に替える

H30.4 改訂

## 特記仕様書のコピー提出について

- ①社会資本である土木構造物等の目的物は、1品1製造のオーダーメイドであり、固有の現地条件を特記仕様書等で、指定しています。
- ②検査においては、その条件に従って、施工が履行出来ているかどうか、確認を行う必要があります。
- ③従来、別の様式に写し換えて、処理状況を報告して戴いていましたが、受注者側の働き方を考慮すると、工夫の余地があります。
- ④そこで、契約図書である、最終(変更)の特記仕様書の全ページをコピーにより準備し提出をお願いします。  
(設計図書の内、日常管理作業で利活用される、それらの電子データの入手については、監督職員と相談して下さい。)
- ⑤特記仕様書の条文に対し、受注者に対応の結果を確認するために、必要に応じて、検査時にヒアリングします。  
なお、可能であれば(出来れば)、実施した対応結果を、提出するコピーの余白等に、メモ記入戴けると、円滑に書類検査が出来ます。

## 出来形管理 (施工数量) 一覧表

作成責任者

◎◎ △△△

### 記入例

工事名	平成30年度 第123-AB456号		AAAABBBCCC線(□□□橋)橋梁修繕工事			H30.4 改訂
工種	単位	設計数量 (延長または箇所数等)	施工数量	差	備考 (補足説明等)	
道路土工						
盛土工						
路体工	m <sup>3</sup>	123,456.0	123,789.0	+333.0	(B≧4m)120,000m <sup>3</sup> +(2.5≦B<4)3,000m <sup>3</sup> +(B<2.5m)456m <sup>3</sup> =	
路床工	m <sup>3</sup>	123,456.0	123,789.0	+333.0		
◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎工	m <sup>3</sup>	123,456.0	122,345.0	▲1,111.0		
法面整形自然復元工						
切土法面工	m <sup>2</sup>	4,321.0	4,444.0	+123.0		
盛土法面工	m <sup>2</sup>			+0.0		
自然型護岸工						
コンクリートブロック工						
連節ブロック工	m <sup>2</sup>			+0.0		
遮水シート工	m <sup>2</sup>			+0.0		
横帯工	箇所			+0.0		
天端コンクリート工	m <sup>3</sup>			+0.0		
				+0.0		
				+0.0		
				+0.0		
				+0.0		
				+0.0		

・記載フォーマットは、あくまで一例。  
・セルを結合するなど、説明し易いように、工夫して下さい。

・工種欄は、工種体系ツリーのイメージで、大・中・小工種の設計書項目を整理のうえ、記載する。

・設計数量は、数量計算書の集計値とする。  
(数量総括表は、指定桁で四捨五入処理がされているため)  
・入力値は「数値のみ」で、とりあえず3桁区分カンマ付きの少数1位で初期設定。

・「差」の列は、**施工数量-設計数量**の式が入力済みで、+、▲の表示設定。  
±0は、+0.0 で表示。

・※3 ページレイアウト>フッター>右側に、「ページ番号/総ページ数」を入力済み。  
・印刷範囲を必要とする打ち出しページのみに整理して、印刷すればフッターにページ数が印字されます。

記入例

※1. 工種欄には、大工種、中工種、小工種の順に工種(例:護岸工→コンクリートブロック工→連節張ブロック工、等)を記入すること。  
※2. 設計数量は、数量計算書の集計値を基に記入すること。  
※3. 右下にページ数を記載すること。

## 工事材料品質規格 事前確認一覧表

作成責任者  
◎◎ △△△

### 記入例

工事名		平成30年度 第123-AB456号		AAAABBBCCC線(□□□橋)橋梁修繕工事				H30.4 改訂		
番号	工種	工事材料名	品質・規格	単位	設計数量	製造業者名 仕入先名	左記の所在地	工場JIS(No.) JIS製品(No.)	提出年月日 確認年月日	備考 (工場検査、指定材料等)
1	断面修復工	〇〇防錆パウダー	ABC-DEF 比重1.27	kg	12,345.0	■■■■工業㈱ (有)◎◎商事	□□府●●市△△町二丁目12-34 ××県●●市△△町四丁目56-78	JIS A 0000	H30.4.10 H30.12.22	工場検査 H30.12.25
2	護岸提脚部遮水矢板工	◎◎性×××××××× ××××鋼矢板	△△△△△△△△△△型 □□-××	枚	123.0	□□□□□□□製鋼㈱ (有)◎◎◎◎◎商事	□□府●●●●市△△△△町二丁目12-34 ××県●●●●市△△△△町四丁目56-78	QA00000000 JIS A 0000	H30.4.1 H30.12.25	指定材料のため、監督職員により現場搬入時に立会
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

記入例

・記載フォーマットは、あくまで一例。  
・セルを結合するなど、説明し易いように、工夫して下さい。

・提出日、確認日は、「西暦/月/日」入力で、和暦の表示。

・JIS番号の列の入力書式は、文字列で設定。

・設計数量は、数量計算書の集計値とする。  
(数量総括表は、指定桁で四捨五入処理がされているため)  
・入力値は「数値のみ」で、とりあえず3桁区分カンマ付きの少数1位で初期設定。

・県内住所なら、「滋賀県」は省略可

・※3 ページレイアウト>フッター>右側に、「ページ番号/総ページ数」を入力済み。  
・印刷範囲を必要とする打ち出しページのみに整理して、印刷すればフッターにページ数が印字されます。

※1. 工場立会検査を行うものについては、備考欄に「工場検査」(実施の日付)等を記入すること。  
※2. 製造業者名、所在地および仕入れ先業者名、所在地を必ず記載すること。  
※3. 右下にページ数を記載すること。

## 主要資材 一覧表

作成責任者  
◎◎ △△△

工事名		平成30年度 第123-AB456号		AAAABBCC線(□□□橋)橋梁修繕工事				H30.4 改訂	
番号	工種	資材名	規格等	単位	設計数量	使用数量	確認方法	差	備考 <small>(数量換算式等を記入すること)</small>
1	盛土工	再生路盤材	RC-40	m <sup>3</sup>	160.0	180.3	伝票確認	+20.3	200t/(1.889×0.9×1.119)=
2	...	...	...	m <sup>2</sup>	1,000.0	1,012.0	出荷証明書	+12.0	
3		◎◎◎◎◎△△△△△	1,000×1,200×1,500	m	123,456.0		空袋確認	▲123,456.0	
4	天然石活用法覆護岸工	割栗石	φ25cm以下	t	462.5	507.7	監督職員確認	+45.2	設計換算 317.0m <sup>3</sup> ×単位体積質量1.459kg/ℓ=462.5t 使用換算 348.0m <sup>3</sup> ×単位体積質量1.459kg/ℓ=507.7t
5	...	...	...			123,456.0	現場技術員確認	+123,456.0	
6							工場立会	+0.0	
7								+0.0	
8								+0.0	
9								+0.0	
10								+0.0	
								+0.0	
								+0.0	
								+0.0	
								+0.0	
								+0.0	
								+0.0	
								+0.0	
								+0.0	
								+0.0	

記入例

### 記入例

・記載フォーマットは、あくまで一例。  
・セルを結合するなど、説明し易いように、工夫して下さい。

・設計数量は、数量計算書の集計値とする。  
(数量総括表は、指定桁で四捨五入処理がされているため)  
・入力値は「数値のみ」で、とりあえず3桁区分カンマ付きの少数1位で初期設定。

・「差」の列は、**使用数量-設計数量=**の式が入力済みで、+、▲の表示も設定。  
±0は、+0.0 で表示。

・「確認方法」の列は、ドロップダウンで選択を設定しています。  
・選択肢以外の場合、直接入力も可能。

・※5 ページレイアウト>フッター>右側に、「ページ番号/総ページ数」を入力済み。  
・印刷範囲を必要とする打ち出しページのみに整理して、印刷すればフッターにページ数が印字されます。

・ドロップダウンのリストは、**\$\$67:\$S\$71**にあるので、編集時に削除しないこと。

※ドロップダウンのリスト※

- 伝票確認
- 出荷証明書
- 空袋確認
- 監督職員確認
- 現場技術員確認

※1. 施工計画書の(6)主要資材に記載したものとすること。  
 ※2. 使用数量欄は、実使用数量を記入すること。  
 ※3. 使用材料が複数の工種にわたるときは、使用の最も多い工種に一括計上を可とする。  
 ※4. 確認方法は、伝票照合、出荷証明書、空袋確認、監督職員確認、現場技術員確認等を記入する。  
 ※5. 右下にページ数を記載すること。

## 品質管理 一覧表

作成責任者
◎◎ △△△

記入例

工事名			AAAABBBCCC線(□□□橋)橋梁修繕工事				H30.4 改訂	
管理項目			試験(測定)項目	試験(測定)基準	管理計画回数	実施回数	管理方法	備考 (補足説明等)
工種	種別	規格						
逆T式擁壁工								
	生コンクリート(材料)	18-8-40BB	アルカリ骨材反応対応	工事開始前、工事中…	1	1	試験成績表	
		21-8-40BB	骨材のふるい分け試験	…	1	1		
			…	…				
	生コンクリート(施工)	18-8-40BB	塩化物総量規制	午前または午後1回…	1	2	試験データ 成果一覧表	
			スランプ試験	荷卸時、1回/日…	1	2		
			…	…				
	生コンクリート(施工)	21-8-40BB	塩化物総量規制	午前または午後1回…	10	10	試験データ 成果一覧表 工程能力図 管理図表	
			スランプ試験	荷卸時、1回/日…	10	10		
			…	…	10	10		
提脚保護盛土工								
	流用土(材料)	特記仕様書による	土の締固め試験	当初および土質変化時	1	1	試験成績表	
	流用土(施工)	最大乾燥密度の●%以上	現場密度試験	●●m3毎に1回	15	15	…	
鋼板補強工								
	軸力試験	トルシア型高力ボルト	ボルト軸力試験	■■KN以上	1	1	現場予備試験	

・記載フォーマットは、あくまで一例。  
 ・セルを結合するなど、説明し易いように、工夫して下さい。  
 ・管理項目の表現や試験項目、基準などの記載も、説明し易いように工夫して下さい。

記入例

・※2 ページレイアウト>フッター>右側に、「ページ番号/総ページ数」を入力済み。  
 ・印刷範囲を必要とする打ち出しページのみ  
 に整理して、印刷すればフッターにページ数が印字されます。

※1. 本表は、施工計画書の品質管理計画表に基づき作成すること。

※2. 右下にページ数を記載すること。

品質管理総括表														
工事番号				工事名	受注者			作成責任者						
工種	種別	規格	試験項目	管理基準	単位	許容範囲			データ				整理方法	摘要
						基準値	上限	下限	個数	平均値	最大	最小		

写し提出

日常管理で作成する資料の**コピー**を提出して下さい。

(出典元)  
県庁HP(トップページの左側)「滋賀県の基本情報」の内、  
「組織情報(電話番号)」  
> 「土木交通部 監理課」の内、「技術管理室」  
> (技術管理室のトップページを 下へスクロール)  
「工事の仕様」の内、「一般土木工事等様式ダウンロード」  
> 「土木工事施工管理基準運用方針(案) 別紙様式(7種類)」  
> 「品質管理1～3 品質管理整理図書・様式(計画表～工程能力図)」の  
エクセルブックの内、シート2 「品質管理総括表」です。

・後書きで良いので、右下側に、  
「ページ番号／総ページ数」を記入して、  
コピーして下さい。

コンクリート圧縮強度等試験成績一覧表

コンクリート圧縮強度等試験成績一覧表													受注者					
コンクリート圧縮強度等試験成績一覧表													作成責任者					
工事番号	平成 年度第 号		工事名	工事 工程						呼び方	( ) - ( ) - ( ) - ( ) - ( )							
打設年月日	※1 試験年月日	打設量	スランブ (許容差) cm	空気量 (許容差) ±1.5%	塩化物含有量 (許容量) 0.3kg/m <sup>3</sup>	温度 °C	養生方法	1週強度 (N/mm <sup>2</sup> )				推定4週強度 推定式 ( )	4週強度 (N/mm <sup>2</sup> )				※2 備考	
								1	2	3	平均		1	2	3	平均		
写し 提出																		

日常管理で作成する資料のコピーを提出して下さい。

(出典元)  
県庁HP(トップページの左側)「滋賀県の基本情報」の内、  
「組織情報(電話番号)」  
> 「土木交通部 監理課」の内、「技術管理室」  
> (技術管理室のトップページを 下へスクロール)  
「工事の仕様」の内、「一般土木工事等様式ダウンロード」  
> 「土木工事施工管理基準運用方針(案) 別紙様式(7種類)」  
> 品質管理 品質管理整理図書・様式(コンクリート圧縮強度等  
試験成績一覧表)」の エキセルブックの  
「コンクリート圧縮強度等試験成績一覧表」です。

・後書きで良いので、右下側に、  
「ページ番号／総ページ数」を記入して、  
コピーして下さい。

※1 上段は1週強度試験日、下段には4週強度の試験日を記入すること。  
※2 材料試験時の立会写真を撮影したものや公的機関での試験については、備考欄にその旨記入すること。(例：監督員立会、現技員立会、建技C 等)  
※3 工程毎の試験回数が少ない場合は、改頁にこだわらず、工程(呼び強度)毎にまとめて、同一頁に記入してもよい。